

第1回 阿賀野市総合計画審議会 議事要旨

1 会議の概要

日 時：平成27年12月24日（木）午後4：00～5：00

場 所：阿賀野市役所 403 会議室

出席者：芋川委員、上松（昭）委員、小林委員、島田委員、武田委員、
羽賀委員、服部委員、百都委員、渡辺委員

2 議事概要

- (1) 総合計画策定スケジュールについて
- (2) 基本構想（案）について
- (3) 基本計画（案）について

3 主な意見

- (1) 総合計画策定スケジュールについて
特に意見なし

- (2) 基本構想（案）について

【「阿賀野市のまちづくりの方向性」全般について】

○①～③の3つの方向性は、従前の総合計画の基本構想を踏襲しているのか。

●従前の総合計画では、将来像ということで設定していた。「人・まち・自然が輝く幸福祉都市 阿賀野」という将来像だが、合併当時のその理念とは、変わらない方向を示していると思う。（事務局）

【「阿賀野市のまちづくりの方向性」②について】

○「新潟市に地理的に近い」ことを活かすというのは、具体的にはどのような有利性を想定しているのか。

●この隣のページに「昼夜間人口比率88.9%」とあるように、日中、阿賀野市内にとどまっている人口が少ない状況である。新潟市あるいは新発田市に通勤・通学する方が多いという現状のベッドタウン的な要素を活かしていく必要がある、という考え方ともに、逆に、市外の方から阿賀野市へ定住していただき、

現在の通勤・通学先に通ってもらうことで人口を増やしていきたい、という考え方である。(事務局)

○交流なども考えて、ということか。

●五頭連峰や五頭温泉郷といった自然環境、観光資源を活かし、新潟市在住の方をターゲットにした交流人口の増加、といったことも視野に入れている。(事務局)

【「阿賀野市のまちづくりの方向性」③について】

○「4地区の均衡ある発展」とあるが、裏を返せば、均衡が取れていない部分がある、ということか。どういった点で、均衡が取れていないのか、具体的な例があれば教えてほしい。

●これは、一極集中ではない、という考え方である。市役所は水原地区にあるが、その他の地区についても支所を拠点として発展を目指すものである。(事務局)

○市役所機能を各地区に分担する、その意味合いだけならば、わざわざこのような表現で掲げる必要はないというのが私見である。

○合併して阿賀野市になったのに、「安田、京ヶ瀬、水原、笹神」という表現だと、市の一体感がないように感じる。「均衡ある発展」といった時、市全体でこれ、といったものがあるのか。芋川委員とは視点は違うのかもしれないが、自分も「均衡ある発展」の表現に違和感を持った。

●「均衡ある発展」という表現が誤解を招いていると思うのだが、4地区それぞれに歴史や古くからの産業がある訳なので、「特徴を生かした発展」を目指す、ということだ。(市長)

○例えば「個性を生かす発展」というように表現を変えてもよいと思う。

【基本構想(案)全般について】

○数値目標化して、客観的に進捗状況が測れる計画となっているのは、高く評価できていると思っている。PDCA サイクルで進めていくのも、大事な手法だと思う。そこで、チェックを行うのは誰になるのか。

●具体の部分までは詰めていないが、行政評価の考え方からすると、まず担当者が振り返ってチェックを行った後、次に所属長による評価、さらに市長をトッ

プとする市政経営会議において評価を行うことになる。そこまでが内部評価であるが、その後に外部評価を行うことになる。総合戦略もそうであるように、総合計画も1年ごとの評価が必要になっている。外部評価は、総合計画審議会がチェックを行う機関になると考えている。

現在、行政改革推進委員会を設置して、事務事業の検証評価を行っているが、そちらとの一体性をどうしていくか、というのがこれからの課題である。いずれにしても、総合計画の進捗管理のチェックをするのは、総合計画審議会になるかと思う。(事務局)

(3) 基本計画(案)について

【評価を行うタイミングについて】

○PDCA サイクルによる進行管理を行い、目標達成を目指すとのことであるが、基本構想と基本計画・実施計画で、計画期間が異なっている。評価を行うタイミングはどのようになるのか。例えば、基本計画の計画期間については平成 32 年度までとなっており、実施計画についてはさらに1年ローリングを行う、ことになっているのだが。

●1年ごとに、現状値はどうなっている、という確認をしたいと考えている。総合計画は28年度がスタートなので、28年度が終わった時点、29年の5・6月頃に内部評価を行い、その後にこの委員会での評価をいただく、というサイクルになるかと思う。年度が終わったごとに、全庁で集中的に評価を行うことになる。(事務局)